

# 山行報告書

報告書作成

2011年5月7日

山名 [山域]	荒島岳(1523m)、銀杏峰(1441m) : [奥越]	目的と方法	白山展望と自然観察
登山期間	2011年9月29日(木)~10月1日(土)	山行形態	テント携行非難小屋泊
参加人数			4名

## 行動記録

### 1日目 荒島岳

自宅(4:30)=畑宅(5:00)=岡崎IC(5:20)=一宮IC(6:00)=長良川SA(6:20-6:50)=美濃IC(ETC)=白鳥IC(7:22)=勝原登山口P(8:10-8:35)--登山道入口(9:23)--白山展望所(10:08-10:20)--ジャクナゲ平(11:02-11:15)--もちが壁(11:30)--荒島岳(12:12-13:00)--もちが壁(13:30)--ジャクナゲ平(13:40-13:50)--白山展望所(14:20)--登山道入口(14:28-14:50)--勝原登山口P(15:25-15:35)=あっ宝んど(15:52-17:03)=勝山サンプラザ(スーパー)(17:15-17:41)=中の平避難小屋(18:10)\*\*就寝(20:00)

### 2日目 経ヶ岳(1625m)

起床(4:00)=中の平避難小屋(5:40)=御堂の滝P(6:00-6:17)--ポケットパーク登山口(7:17)--御堂の滝P(9:03-9:15)=稚児堂(9:20-9:42)=中の平避難小屋(9:57)\*\*就寝(19:15) \*\*雨のため中止\*\*

### 3日目 銀杏峰(げなんぼう)

起床(4:00)=中の平避難小屋(5:35)=宝慶寺いこいの森(6:40)=銀杏峰登山口P(6:55-7:17)--銀杏峰登山口(7:30)--林道交差(7:45)--登山道入口(7:50)--鉢山跡(7:55)--ブナの木(8:25-8:40)--部子山分岐(9:27)--銀杏峰(9:44-10:38)--部子山分岐(10:51)--ブナの木(11:40-11:48)--鉢山跡(12:17)--登山道入口(12:20)--銀杏峰入口(12:32)--銀杏峰P(12:40-12:50)=宝慶寺いこいの森(13:05)=あっ宝んど(13:25-14:35)=福そば(14:40-15:20)=白鳥IC(16:25)=美濃加茂SA(17:05-17:20)=岡崎IC(18:10)=畑宅(18:40)=自宅(19:15)

## 概念図



### ~MEMO~

- ・岡崎ICから白鳥IC2000円(割引含む)
- ・あっ宝んど(温泉) 600円

### 日誌

**1日目 荒島岳 天気：曇/晴**  
登山口は元スキー場のリフトが見える。トイレ有。駐車スペースは10台程ある。天気は秋晴れとはいかないが気持ちよく晴れ、清々しい空気の中を歩き始めた。登山道まではリフトの下に後から造られたであろうアスファルトの坂を直進する。汗が出てくる。登山道入口付近からススキ・萩が登山道を覆うように生えており、秋を感じさせてくれた。登山道は途中まで木の根が程よい階段となり登り易かった。

ブナの木林にはトトロの木なるものがあった。雰囲気は伝わる。途中からは砂防用の階段が頂上付近まで延々と続き、体力を消耗させられた。まずまずの天気のため、展望所では白山をみる事ができた。頂上では白山、別山など360°周囲の山をみる事ができた。途中のジャクナゲ平ではジャクナゲの影は無く、もちが壁については階段が付けられており、昔よりは登り易くなっているようだ。印象に残るのは、屋過ぎてからのやさしい日差しがブナ林に光を落としていたことだと思う。

### 2日目 経ヶ岳 天気：雨

本来ならばポケットパーク登山口まで車で行けるが、土砂崩れで通行できないため御堂の滝Pに駐車する。そこから1時間程歩いて登山口へ向かう。この時点では小雨だった。それからすぐに大雨になり、ポケットパーク登山口まで行くも、山行は断念した。

### 3日目 銀杏峰 天気：晴

登山口は小さな鳥居をくぐる。皆できのこを探す。下ばかり見る→木の幹で頭を打つ→周りを叩き叩きする→つまづく…の繰返しで登っていると林道に出た。登山道はそこから左手に30mほど進んだ所にあり、標識も出ていた。そこからはひたすら真直ぐで急登。途中にはザイルの付いた場所が数ヶ所あった。少し古くなっていた。鉢山跡は石垣が少し残っているだけのようだ。1200m付近に『此処から急登』の標識があった。謎。今までずっと急登だったのに。歩くに連れぐんぐんと標高が上がる。後ろを振り返ると、麓は雲が消えてすばらしい下界の眺めだった。山頂方向はまだ雲で見られない。期待が膨らむ。いいや。願いだ!!晴れて一。部子山への分岐は標識があったが、人の歩いた形跡は無くヤブになっていた。この辺りから道が緩やかになる。同時に雲が切れて太陽の光

が差す!! 頂上付近は広大な丘のように広々としていた。山頂では紅葉が始まっていた。ステキだ。祠に皆でお参りをした。まだ少し残る雲が白山や荒島岳の山頂に掛かっていた。雲が切れるのを待ちながら昼食をとる。結果天気は快晴で、前日の雨により空気が澄んでいて、眺望がすばらしく良く、前日雨の中を一日待った甲斐があったと喜び下山した。下山は木の根に誘導されて何度も滑った。登山口まで緊張が解けなかった。林道からも白山が見えた。空気が澄んでいたためか、近くの山がより鮮明にみえた。

## 感想

2日目は大雨のおかげで林道が『山の生き物歩行者天国』となり、私たちには「自然かんさつ会」となった。落石に激似のカエル…カエルが…カエルがたくさん。泳いでいるのか歩いているのか分からない小さなサンショウウオ。海から拾ってきたような家を持つカタツムリ…。なんだか楽しい。最後に栗ひろい。避難小屋で炒って試食した。紅葉には少し早かったが初秋をめいっぱい堪能できた。